

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 ENEOSホールディングス株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5020 URL <https://www.hd.eneos.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大田 勝幸  
 問合せ先責任者 (役職名) インベスター・リレーションズ部 (氏名) 井上 亮 TEL 03-6257-7075  
 IRグループマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満は四捨五入して表示しています)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,224,073	43.8	161,980	669.9	157,230	974.8	97,622	—	125,161	—
2021年3月期第1四半期	1,546,194	△38.5	21,038	△57.3	14,629	△65.6	△4,881	—	△20,902	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	30.41	30.33
2021年3月期第1四半期	△1.52	△1.52

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,340,909	2,833,711	2,399,631	28.8
2021年3月期	8,058,818	2,752,568	2,325,108	28.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500,000	24.1	260,000	2.3	240,000	3.9	140,000	22.8	43.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

通期の連結業績予想は、前回(5月12日)発表を据え置いています。

上記の「基本的1株当たり当期利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年6月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

在庫影響(\*)を除いた利益相当額(予想)は、以下のとおりです。

	営業利益	(対前期増減率)
在庫影響を除いた利益相当額(通期) 2022年3月期 予想	230,000百万円	(6.7%)
[<参考> 2021年3月期 実績	215,500百万円	]

(\*) 総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	3,230,282,649株	2021年3月期	3,230,282,649株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	19,218,715株	2021年3月期	19,626,899株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	3,210,719,869株	2021年3月期1Q	3,217,482,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述について）

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響
- (3) 法律の改正や規制の強化
- (4) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率について、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」を記載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催します。この説明会で使用する資料等につきましては、決算発表と同時に当社ウェブサイトにて掲載します。

・2021年8月13日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等につきましては、当社ウェブサイトをご確認ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [全般]

当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年6月30日）においては、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展等を背景に、経済活動の正常化が進んだことで世界経済は回復のペースを速めました。

わが国経済については、4月に3回目となる緊急事態宣言が発出され、対象地域の拡大・期限の延長により、依然として厳しい状況が続きました。世界経済の回復を受けて輸出は増加しましたが、インバウンド需要は引き続き低迷しています。

同期間における原油価格（ドバイ原油）は、期初は1バーレル当たり62ドルから始まり、期末には73ドル、期平均では前年同期比36ドル高の67ドルとなりました。3月までに大きく回復してきた原油価格は、新型コロナウイルスのワクチン接種進展による景気回復期待を受け、6月には70ドル台へ乗せました。その後も、米国での活動制限の大幅緩和、OPECプラスによる協調減産の縮小合意が進展しなかったこと等を受け、依然として高水準で推移しています。

銅の国際価格（LME〔ロンドン金属取引所〕価格）は、期初は1ポンド当たり398セントから始まり、期末には426セント、期平均では前年同期比198セント高の440セントとなりました。各国経済対策による景気回復や中国の銅需要への拡大期待等から、5月には10年ぶりに過去最高値を更新（486セント）しました。その後は中国による国家備蓄放出等の価格抑制策が懸念され、6月には反落しました。

円の対米ドル相場は、期平均では前年同期比1円円安の109円となりました。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は、原油価格の上昇に伴う石油製品販売価格の上昇、金属価格の上昇等により、前年同期比43.8%増の2兆2,241億円となりました。また、営業利益は、原油価格上昇による在庫影響等により、1,620億円（前年同期は210億円）となりました。在庫影響（総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）を除いた営業利益相当額は、745億円（前年同期は832億円）となりました。

金融収益と金融費用の純額48億円を差し引いた結果、税引前四半期利益は1,572億円（前年同期は146億円）となり、法人所得税費用470億円を差し引き、四半期利益は1,102億円（前年同期は35億円）となりました。

なお、四半期利益の内訳は、親会社の所有者に帰属する四半期利益が976億円、非支配持分に帰属する四半期利益が126億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

## [エネルギー]

エネルギー事業については、新型コロナウイルス感染症の影響緩和等により、石油、石油化学製品需要の回復傾向が見られたものの、自動車の低燃費化に代表される構造的な需要の減少等により、販売数量は、前年同期に比べ国内向けは0.3%増、輸出は7.5%減となりました。

こうした状況のもと、エネルギー事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は、原油価格の上昇等により、前年同期比48.0%増の1兆7,695億円となりました。営業利益は950億円（前年同期は184億円の損失）となりました。これには原油価格の上昇を主因とする在庫影響による会計上の利益が875億円（前年同期は622億円の損失）含まれており、在庫影響を除いた営業利益相当額は、75億円（前年同期は438億円）となりました。

## [石油・天然ガス開発]

原油及び天然ガスの生産量については、自然減退等による減少があったものの、既存プロジェクトの追加開発からの生産貢献等もあり、前年同期に比べ増加しました。また、原油及び天然ガスの販売価格は、原油市況を反映し前年同期に比べ上昇しました。

こうした状況のもと、石油・天然ガス開発事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比82.8%増の415億円、営業利益は153億円（前年同期は7億円）となりました。

## [金属]

機能材料・薄膜材料事業については、各製品の販売量は、スマートフォン、サーバー、通信インフラ等高機能IT分野での需要の増加を主因に、概ね前年同期を上回りました。

資源事業については、チリのカセロネス銅鉱山における生産量は、前年同期に比べて減少したものの、銅価の上昇を主因として増益となりました。なお、同鉱山においては、引き続き生産性の向上とコスト削減に取り組んでいます。

製錬・リサイクル事業については、銅鉱石の買鉱条件悪化があったものの、金属価格の上昇及び硫酸国際市況の改善を主因として増益となりました。

こうした状況のもと、金属事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比40.2%増の3,107億円、営業利益は408億円（前年同期は192億円）となりました。

## [その他]

建設事業については、公共投資が底堅く推移し、民間設備投資も持ち直しの動きが見られたものの、労働需給や原材料価格等の動向に引き続き注意を要する等、依然として厳しい経営環境が続いており、技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減・業務効率化に努めました。

こうした状況のもと、その他の事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.0%減の1,129億円、営業利益は99億円（前年同期は162億円）となりました。

上記各セグメント別の売上高には、セグメント間の内部売上高が合計105億円（前年同期は116億円）含まれています。

## (2) 財政状態に関する説明

- ① 資産 当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、資源価格上昇による棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比2,821億円増加の8兆3,409億円となりました。
- ② 負債 当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、棚卸資産の増加に伴う運転資金の増加等により、前連結会計年度末比2,009億円増加の5兆5,072億円となりました。有利子負債残高は、前連結会計年度末比3,248億円増加の2兆3,617億円となり、また、手元資金を控除したネット有利子負債は3,152億円増加の1兆9,331億円となりました。
- ③ 資本 当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、配当金の支払があったものの、四半期利益の計上等により、前連結会計年度末比811億円増加の2兆8,337億円となりました。

なお、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比0.1ポイント減少し28.8%、1株当たり親会社の所有者帰属持分は前連結会計年度末比23.12円増加の747.30円、ネットD/Eレシオ（ネット・デット・エクイティ・レシオ）は前連結会計年度末比0.09ポイント悪化し、0.68倍となりました。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	417,724	427,251
営業債権及びその他の債権	1,129,421	1,051,436
棚卸資産	1,295,576	1,579,015
その他の金融資産	50,530	79,551
その他の流動資産	141,626	162,959
小計	3,034,877	3,300,212
売却目的保有資産	4,727	5,057
流動資産合計	3,039,604	3,305,269
非流動資産		
有形固定資産	3,551,070	3,541,412
のれん	181,507	181,634
無形資産	342,391	341,450
持分法で会計処理されている投資	445,304	459,737
その他の金融資産	386,295	405,980
その他の非流動資産	10,080	11,794
繰延税金資産	102,567	93,633
非流動資産合計	5,019,214	5,035,640
資産合計	8,058,818	8,340,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,583,199	1,452,510
社債及び借入金	616,567	669,692
未払法人所得税	26,186	40,563
リース負債	71,756	65,661
その他の金融負債	28,808	34,290
引当金	18,693	14,176
その他の流動負債	329,697	340,901
流動負債合計	2,674,906	2,617,793
非流動負債		
社債及び借入金	1,420,333	1,691,994
退職給付に係る負債	242,269	234,496
リース負債	428,666	416,110
その他の金融負債	34,120	37,709
引当金	175,634	176,196
その他の非流動負債	53,272	56,656
繰延税金負債	277,050	276,244
非流動負債合計	2,631,344	2,889,405
負債合計	5,306,250	5,507,198
<b>資本</b>		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,066,459	1,066,387
利益剰余金	1,042,416	1,107,977
自己株式	△8,793	△8,620
その他の資本の構成要素	125,026	133,887
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,325,108	2,399,631
非支配持分	427,460	434,080
資本合計	2,752,568	2,833,711
負債及び資本合計	8,058,818	8,340,909



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,546,194	2,224,073
売上原価	1,355,190	1,886,657
売上総利益	191,004	337,416
販売費及び一般管理費	186,882	199,233
持分法による投資利益	13,836	19,325
その他の収益	12,291	15,248
その他の費用	9,211	10,776
営業利益	21,038	161,980
金融収益	1,972	834
金融費用	8,381	5,584
税引前四半期利益	14,629	157,230
法人所得税費用	11,164	46,986
四半期利益	3,465	110,244
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△4,881	97,622
非支配持分	8,346	12,622
四半期利益	3,465	110,244
(単位：円)		
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)	△1.52	30.41
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)	△1.52	30.33

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	3,465	110,244
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	6,408	9,456
確定給付制度の再測定	3,939	3,393
持分法適用会社におけるその他の包括利益	58	△226
合計	10,405	12,623
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△12,620	3,852
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△15,019	△4,132
持分法適用会社におけるその他の包括利益	△7,133	2,574
合計	△34,772	2,294
その他の包括利益合計	△24,367	14,917
四半期包括利益	△20,902	125,161
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△26,446	109,874
非支配持分	5,544	15,287
四半期包括利益	△20,902	125,161

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年4月1日残高	100,000	1,138,884	982,786	△6,003	76,129	△2,794
四半期利益	—	—	△4,881	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	5,470	△13,857
四半期包括利益合計	—	—	△4,881	—	5,470	△13,857
自己株式の取得	—	—	—	△9	—	—
自己株式の処分	—	0	—	83	—	—
剰余金の配当	—	—	△35,437	—	—	—
株式報酬取引	—	2	—	—	—	—
非支配株主との資本取引等	—	△13,668	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	4,322	—	△75	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	882
その他の増減	—	△583	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△14,249	△31,115	74	△75	882
2020年6月30日残高	100,000	1,124,635	946,790	△5,929	81,524	△15,769

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日残高	22,044	—	95,379	2,311,046	396,862	2,707,908
四半期利益	—	—	—	△4,881	8,346	3,465
その他の包括利益	△17,425	4,247	△21,565	△21,565	△2,802	△24,367
四半期包括利益合計	△17,425	4,247	△21,565	△26,446	5,544	△20,902
自己株式の取得	—	—	—	△9	—	△9
自己株式の処分	—	—	—	83	—	83
剰余金の配当	—	—	—	△35,437	△6,546	△41,983
株式報酬取引	—	—	—	2	—	2
非支配株主との資本取引等	—	—	—	△13,668	△2,252	△15,920
利益剰余金への振替	—	△4,247	△4,322	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	882	882	987	1,869
その他の増減	—	—	—	△583	426	△157
所有者との取引額合計	—	△4,247	△3,440	△48,730	△7,385	△56,115
2020年6月30日残高	4,619	—	70,374	2,235,870	395,021	2,630,891

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年4月1日残高	100,000	1,066,459	1,042,416	△8,793	93,184	△6,851
四半期利益	—	—	97,622	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	8,561	△6,596
四半期包括利益合計	—	—	97,622	—	8,561	△6,596
自己株式の取得	—	—	—	△13	—	—
自己株式の処分	—	△186	—	186	—	—
剰余金の配当	—	—	△35,363	—	—	—
株式報酬取引	—	50	—	—	—	—
非支配株主との資本取引等	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	3,302	—	74	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	△89
その他の増減	—	64	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△72	△32,061	173	74	△89
2021年6月30日残高	100,000	1,066,387	1,107,977	△8,620	101,819	△13,536

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日残高	38,693	—	125,026	2,325,108	427,460	2,752,568
四半期利益	—	—	—	97,622	12,622	110,244
その他の包括利益	6,911	3,376	12,252	12,252	2,665	14,917
四半期包括利益合計	6,911	3,376	12,252	109,874	15,287	125,161
自己株式の取得	—	—	—	△13	—	△13
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△35,363	△9,712	△45,075
株式報酬取引	—	—	—	50	—	50
非支配株主との資本取引等	—	—	—	—	△268	△268
利益剰余金への振替	—	△3,376	△3,302	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	△89	△89	△899	△988
その他の増減	—	—	—	64	2,212	2,276
所有者との取引額合計	—	△3,376	△3,391	△35,351	△8,667	△44,018
2021年6月30日残高	45,604	—	133,887	2,399,631	434,080	2,833,711

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I. 前第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

(単位:百万円)

	エネルギー	石油・天然 ガス開発	金属	報告セグメント 合計	その他	調整額 (注3)	連結
売上高							
外部顧客への売上高	1,194,897	22,678	221,384	1,438,959	107,235	—	1,546,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注1)	893	—	320	1,213	10,344	△11,557	—
計	1,195,790	22,678	221,704	1,440,172	117,579	△11,557	1,546,194
セグメント利益又は損失(△) (注2)	△18,433	704	19,230	1,501	16,204	3,333	21,038
金融収益							1,972
金融費用							8,381
税引前四半期利益							14,629

(注) 1. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。

2. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。

3. セグメント利益又は損失の調整額3,333百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額3,033百万円が含まれています。

## II. 当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

(単位:百万円)

	エネルギー	石油・天然 ガス開発	金属	報告セグメント 合計	その他	調整額 (注3)	連結
売上高							
外部顧客への売上高	1,768,536	41,458	310,315	2,120,309	103,764	—	2,224,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注1)	973	—	413	1,386	9,115	△10,501	—
計	1,769,509	41,458	310,728	2,121,695	112,879	△10,501	2,224,073
セグメント利益又は損失(△) (注2)	94,952	15,265	40,803	151,020	9,850	1,110	161,980
金融収益							834
金融費用							5,584
税引前四半期利益							157,230

(注) 1. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。

2. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。

3. セグメント利益又は損失の調整額1,110百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額980百万円が含まれています。